

『よこて学びプラン 横手市生涯学習推進計画』の施策に対する評価

<3段階評価> 具体的施策に対し内容が A=合致している B=合致しているが内容が足りない C=合致していない

施策の展開	主な取り組み	具体的施策	H29	H30	R1	R2	R3	委員によるコメント	
1 生涯学習の振興	(1)市民の学習意欲の高まりに応え、秋田大学横手分校とも連携しながら、各種講座や教室等のより満足度の高い学習機会の提供に努めるとともに、学習環境の整備を図ります。	①秋田大学横手分校など他機関と連携した学びを提供します。	—	A	A	A	A		
		②「だれでも」「なんでも」学べる機会をつくります。	—	A	A	A	A	・父親と子ども事業は内容・参加者も多く良い事業だった。交流センターの事業として開催できないものか。 ・男性の受講者を増やしたい。男親対象の講座がもっと欲しい。 ・各地で担当において種々工夫し事業を展開している。	
		③「いつでも」「どこでも」学べる環境を整備します。	—	B	B	B	B	・市民が学びたいと思うような環境づくりが必要。 ・この項目の具体的活動が見えてこない。 ・職員研修も充実させ、職員間のネットワークを強化することも必要。	
		④学びの情報を発信します。	—	A	B	A	A	・情報発信により、市民への周知を図ってほしい。 ・情報が行き渡るような努力がされている。より見やすいHP等の工夫を。 ・地域の情報は入ってくるが、市全体の事業の情報が見えにくい。	
	(2)子どもたちの豊かな情操と心身の健全な成長のため、各種体験活動事業や交流事業などの実施に努めます。	①体験活動の機会を提供します。	—	A	A	A	A	・今後は高齢化と少子化で伝統文化の継承が課題。学校との連携を進めてほしい。 ・各地区・担当で子どもたちを育てるための工夫が凝らされている。	
		②交流活動を支援します。	—	A	A	A	A	・これからどんな形で地域と子どもたちが交流できるのか楽しみである。 ・工夫され事業が行われているが、毎年のことで「子どもたちの～のため」という点が抜けている事業がある。	
	(3)学習の成果を地域活動参画や社会貢献に活かす環境づくりに努めます。	①学びサイクル(循環)を見直します。	—	B	B	B	B	・地域人材の活用を図りながら、地域活動を進めてほしい。 ・学んだことを地域課題の解決や社会貢献に生かす機会の工夫が必要。 ・人材発掘や育成の情報を共有するネットワークづくりが必要。	
	2 社会教育の推進	(1)各種社会教育団体の活動を支援します。	①関係機関・施設・団体等との連携づくりを進めます。	—	B	A	A	A	・関連機関との連携の実施数が足りない。 ・地道に連携を築き続ける。
			②団体等の活動の充実を目指します。	—	A	A	A	A	・魅力ある活動を紹介していくことも大事である。 ・普段から団体へのバックアップや連携を継続してほしい。
③地域との連携づくりを進めます。			—	A	A	A	A	・ベースとなる関係づくりを地道に進めてほしい。	
(2)公民館について、市民協働によるまちづくり活動と連携した地区交流センター化の拡大を目指します。		①地区交流センター・公民館を拠点とした交流の活性化を図ります。	—	A	A	A	A	・集落単位の小きな活動へも目を向けてほしい。 ・コロナ禍で難しい状況の中、各地区、担当で工夫し努力している。	
		②まちづくり・人づくりを進めます。	—	A	A	A	A	・さらに充実した内容の講座を希望する。 ・コロナ禍で難しい状況の中、各地区、担当で工夫し努力している。	
3 芸術文化の振興	(1)芸術文化に親しむ活動を推進するとともに、市民が主体的に行う芸術・文化活動を支援し、成果発表の機会と場の提供に努めます。	①芸術・文化活動を支援します。	—	A	A	A	A	・今後も児童・生徒・園児に生の芸術を体験する機会を提供してほしい。 ・コロナ禍で中止せざるを得ない事業も多いが、各担当でできることを行っている。	
		②芸術・文化施設の機能・サービスを充実させます。	—	A	B	A	A		
		③芸術的・文化的資源の整理活用を図ります。	—	A	A	A	A	・各地区・担当で、独自の芸術文化資源の保存と活用を図っている。	